早朝からグラウンドで運動を楽しむ花房小の児童たち。体力向上を目指して週に4回、マラソンや体操などの朝活動を行っている

花房小学校、戸崎小学校、泗水西小学校

「小規模特認校制度」来年4月、スタート

問 学校教育課 ☎0968(25)7231

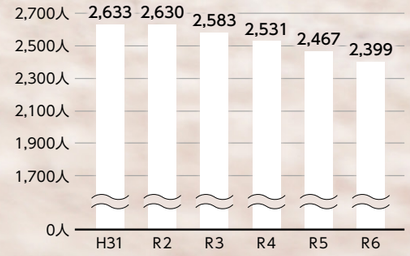
減り続ける児童数

心身の発達に重要な時期である小学校の6年間。長引く少子化の影響で全国的に児童数は減り続けており、市内の小学生も5年前と比べ234人減少し、学校の維持が危ぶまれています。

しかし、地域の賑わいには学校の力も重要です。近年、児童が少ない小規模校の維持に向けた「小規模特認校制度」を採用する自治体が増えてきています。

今月号では小規模特認校制度と、制度導入予定の花房小、戸崎小、泗水西小3校の特色について紹介します。

市内小学校の児童数の推移



小規模特認校制度で学校と地域の維持を目指す

少子化を受け、学校現場にも変化が起きています。校区外の児童も就学できる「小規模特認校制度」もその一つ。特色ある教育や地域の賑わいを維持するための取り組みが進んでいます。

花房小学校 村上晴菜（むらかみはるな）教諭

児童数減による教員数の減少 学校運営や地域活動継続に懸念

「もうちょっとだよ、頑張って」「やっぱり上級生は速いね」

青空の下、早朝から運動場を走る児童たち。これは体力向上を目的に行われている花房小学校伝統の「目覚ましマラソン・ウオーキング」です。同小は体育活動に力を入れていて、昨年度は県体力向上優秀実践校にも選ばれました。

「うちは素直でやる気のある児童が多いです」と笑顔で語るのは花房小の村上晴菜（はるな）教諭。少人数ならではの学年交流や地域に根ざした行事も多く、特色のある学校だと話します。

「その一方、児童数の減少は続いていて、今年の4月には担任する3・4年が複式学級になりました。1時間の中で2学年分を指導していますが、授業の準備など負担が大きいのが現状です」

2学年で児童数が16人以下の小学校では原則として複式学級が設けられ、教員の配置数が減らされます。教員数の減少によって、今後の学校運営や地域活動への負担、制限が生じることが懸念されています。

教育活動の活性化のため、小規模特認校制度を導入

市教育委員会でも今後の学校運営に危機感を持っています。将来の市内児童数を推計したところ、花房小の他にも2つの小学校で複式学級の可能性が見込まれました。

こうした現状を踏まえ、児童数の少ない小規模校の維持を目指し、通学区域に関係なく転入学を認める「小規模特認校制度」を令和7年度からの導入を決定。県内では熊本市や山鹿市、大津町などの自治体が既に始めています。

「学校が存続し、地域で子どもたちの声が聞こえることで、まちは明るくなります」と音光寺以章（おんこうじいしょう）教育長は説明します。「制度を導入することで、もともと通っている子どもたちの人間関係の幅も広がります。小規模特認校制度は、複式学級の解消だけでなく、教育活動の活性化のための解決策になると期待しています」

インタビュー

花房小学校運営協議会 野口祐二（のぐちゆうじ）会長

小学校は地域の核となるもの

小学校の運営協議会で会長をしています。花房小は特色のある学校です。マラソンや体操などの体育に力を入れている他にも、地域の皆さんが読み聞かせをしたり水鉄砲作り教室を開催したりしています。児童との交流も多く、住民が学校を見守るような地域です。

児童数が減り続けているということで、以前も統廃合の話があり危機感を持っていました。小学校は地域の核となるものです。学校から子どもたちの声が聞こえてくると、私たちも元気になります。もしなくなってしまったら寂しいですね。

小規模特認校制度が始まることで、今まで以上に学校に活気が出てくるのではないかと期待しています。引き続き地域のみんなで子どもたちを見守っていきたいです。

花房小学校

きたえよう心と体　たかめよう技と学力

出田2516　☎0968(25)2386　　児童数 58人(5月1日現在)

ホームページ

久保郁夫(くぼいくお)校長

体 力向上を目的として週に4回朝活動を行っています。そのうち3回は目覚ましマラソンウオーキング、残り1回は花房3体操、リレー、縦割り班活動です。

朝からの運動は脳の活性化に効果があります。その結果、全国学力・学習状況調査では良好な成績を残しています。また、体力向上の面でも評価され、昨年度、「体力向上優秀実践校」(県内小学校に年間一校だけ贈られる賞)に選ばれました。

他にも体育委員主催の「みんなで遊ぼう」(全校遊び)を月に1回行い、外遊びの奨励と仲を深める取り組みを実施しています。

地域とのつながりも強く、毎年9月には地域の人に、花房について教えてもらう土曜授業をしています。学年に合わせて、用水路での生物調査や、花房飛行場での平和学習など授業内容はさまざまです。そのほか田植えやまち探検、アユの放流など、地域の協力により充実した内容の行事が行われています。

毎年開催される花房フェスタでは、5・6年生がリーダーシップをとって練習した出田の獅子舞を保護者や地域の皆さんに披露しています。

本校では、体育での学びや地域とのつながりを通し、人を大切にし、ふるさとを愛する心を育てています。体育を教育の基盤として、一人一人を大切にする教育をこれからも目指していきます。

地元に伝わる市指定文化財「出田の獅子舞」。継承に取り組んでいる

戸崎小学校

心ゆたかで　かしこく　たくましく

赤星1164　☎0968(25)2053　　児童数 67人(5月1日現在)

ホームページ

古奥雅一(ふるおくまさいち)校長

歴 史や自然に触れ、地域と連携した授業をしています。4年生の総合的な学習の時間には、宝永隧道(ほうえいずいどう)を探検します。

宝永隧道は、宝永2年12月から173日間かけて山を素掘りして作られたトンネルで、戸崎ならではの学習資源です。先人の思いや地域の人の思いに触れることで、児童が故郷への思いを改めて強くし、人や物に感謝の気持ちを持つことを願っています。

戸崎校区を学習することは小学校が中心です。6年間を通して地域を知り、学んだことを地域の人に発信することで、さらに地域への思いを強めてほしいと考えています。

学習の成果は「よいとこ祭」という戸崎地区の行事で保護者や地域の皆さんに発表します。

児童たちが調べたことをまとめて発表し、自信をつける。それを見た保護者や地域の人、先生たちに認めて褒めてもらい児童たちが活気づくというサイクルを回すことで児童の成長につなげています。

歴史学習以外にも地域のゲストティーチャーを招いた授業に取り組んでいます。芋の苗植えや米作りなどの自然学習、平和や命に関する学習など、種類が幅広いのが戸崎小の魅力です。地域の皆さんが温かく、学校がお願いをすると快く受け入れてくれます。

地域と人とのつながりを大切にし、「いい声・いい顔・いい心」の児童たちを目指して教育していきます。

地域の人たちと田植えをする児童たち

泗水西小学校

正しい子 伸びる子 つよい子

泗水町田島333　☎0968(38)2453　　児童数 58人(5月1日現在)

ホームページ

福島恵美子(ふくしまえみこ)校長

地 元区長さんに教えてもらうしめ縄作りや地域の人との梅ジュース作りなど、地域一体の活動が多くあります。

一昨年は地域の人たちを招いて、日ごろの感謝の気持ちを伝えるため「友情の森フェスティバル」を開催しました。児童が主体となってステージイベントやキッチンカーなどでもてなしました。

普段の授業とは一味違い、縦割り班で広報班や舞台班などのグループに分かれて自分たちで考えて行動し、創造力を身につける機会になりました。当日は特設ステージで日本舞踊やダンス、空手を披露したり、児童が考えたお弁当を販売したりしました。

コロナ明けの久しぶりの地域一体のイベントということもあって児童も地域の人たちも笑顔があふれ「最高だった」と感想の声が寄せられました。

総合的な学習の時間では「田島プロジェクト」という3～6年生が一緒に取り組む泗水西小ならではの授業を行っています。今年度、泗水西小が150周年を迎えるため「泗水西小学校の150歳をお祝いしよう」をテーマに式典の計画を地域の皆さんと考えています。

学校は地域の元気の源だと考えています。児童たちがわくわくする活動を通して田島について知り、田島愛を持ってもらうことで西小が末永く続くように、地域と一緒に教育に取り組んでいきたいですね。

友情の森フェスティバルで地域の人たちに手作りの感謝状を贈った

地域、学校の活性化に期待

菊池市教育委員会
音光寺以章(おんこうじいしょう)教育長

小規模特認校制度は課題解消と教育活動の活性化を図る制度です。校区外の児童と学校生活を送ることで子ども同士のつながりや見方、考え方が広がることも期待しています。

今回対象となった3小学校は、児童数は少ないですが地域に根差した特色のある学校です。学校を通して保護者や子どもたちが地域を知ることによって、伝統文化の継承者が増えてくれるとうれしいですね。

今後も児童数は減少していくことが予想されます。教育活動の維持や地域のつながりのためにも、今後の対策を検討していきます。

小規模特認校の説明会を開催します

令和7年度小規模特認校への入学・転学を希望する保護者と児童を対象に、学校説明会を開催します。

と　き
戸崎小学校　8月5日(月)
泗水西小学校　8月6日(火)
花房小学校　8月7日(水)
いずれも午前9時～(1時間程度)

申込方法 申し込みフォーム、または学校教育課まで電話でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先 申し込みフォーム➡
学校教育課　☎0968(25)7231

令和7年度小規模特認校の募集人数

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年	6年生
花房小	2人	3人	2人	3人	2人	3人
戸崎小	3人	3人	ー	2人	ー	ー
泗水西小	3人	3人	3人	3人	ー	ー

小規模特認校への就学を希望する兄弟姉妹で、どちらかが募集がない学年の場合は、別途協議します。